

生物多様性保全に関する認知度等アンケート調査

調査目的： 長崎県では、本県における生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和3年3月に「長崎県生物多様性保全戦略2021-2025」を策定しました。

『いきものと人々がにぎわう「ながさきの未来環境」』の実現を目指し、今後5年間で重点的に取り組むべき5つの行動目標を定めて、各種取組を推進しています。

この戦略の施策の効果を把握するために、県民の生物多様性に関する認知度や県民が「生物多様性保全」に求めているものなど13の項目についてのアンケートを実施するものです。

調査期間： 令和6年6月14日から令和6年7月12日までの期間で実施

調査対象： ながさき県政WEBアンケート全モニター（350名）

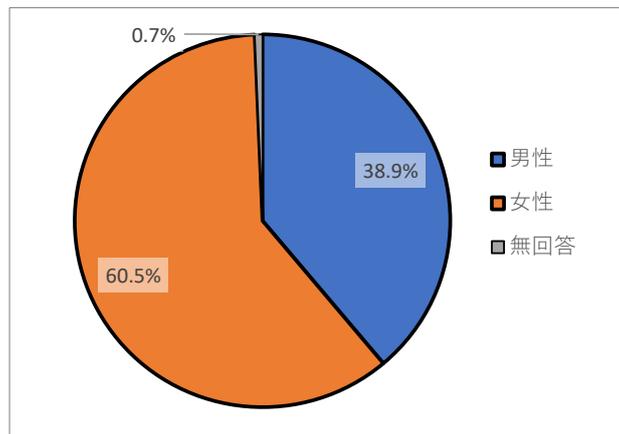
回答状況： 回答者301名（回答率86.0%）

調査担当課： 県民生活環境部 自然環境課

■ 回答者の属性

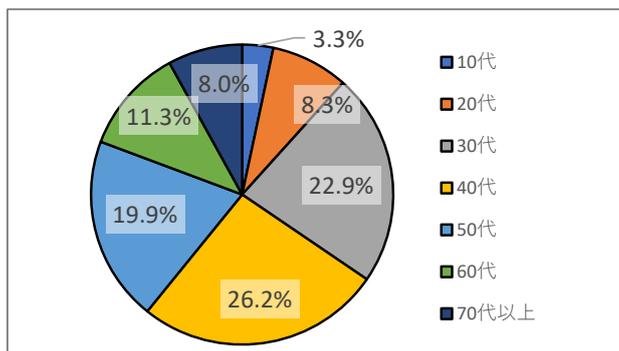
男女構成比率

性別	人数	構成比率
男性	117	38.9%
女性	182	60.5%
無回答	2	0.7%
合計	301	100.0%



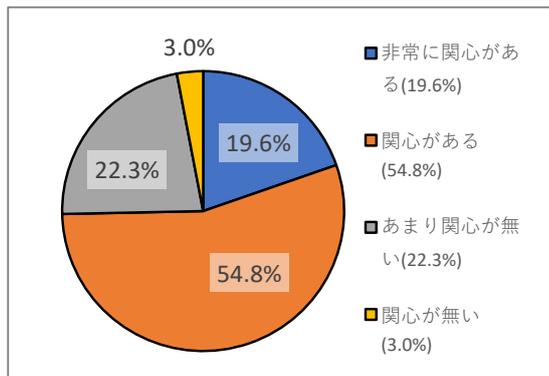
年齢構成比率

年齢	人数	構成比率
10代	10	3.3%
20代	25	8.3%
30代	69	22.9%
40代	79	26.2%
50代	60	19.9%
60代	34	11.3%
70代以上	24	8.0%
合計	301	100.0%



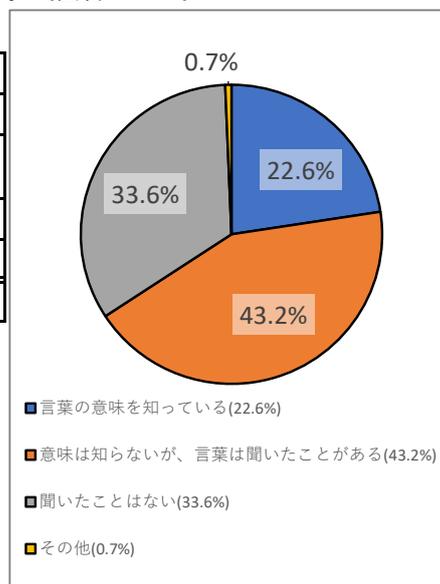
Q 1 あなたは、自然についてどの程度関心をもっていますか。〔回答は一つ〕

項目	回答数	割合
1. 非常に関心がある	59	19.6%
2. 関心がある	165	54.8%
3. あまり関心が無い	67	22.3%
4. 関心が無い	9	3.0%
5. その他	1	0.0%
合計	301	100.0%



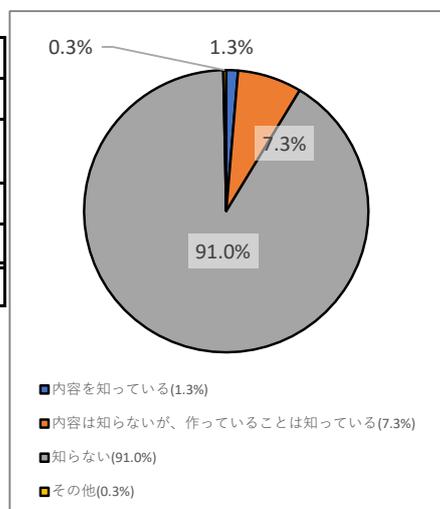
Q 2 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。〔回答は一つ〕

項目	回答数	割合
1. 言葉の意味を知っている	68	22.6%
2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	130	43.2%
3. 聞いたことはない	101	33.6%
4. その他	2	0.7%
合計	301	100.0%



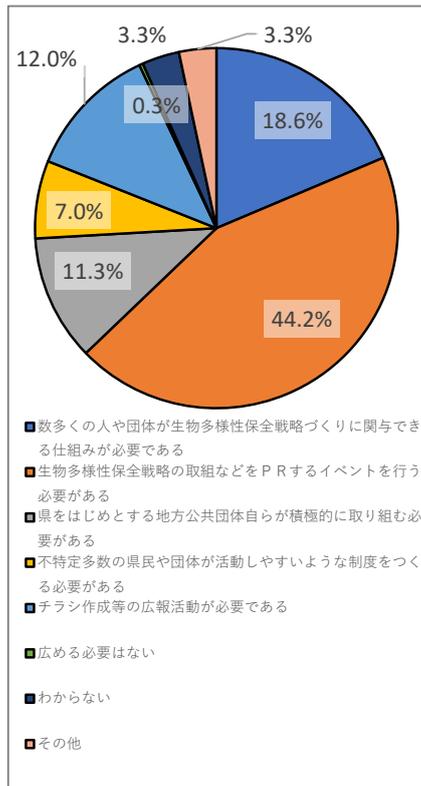
Q 3 あなたは、長崎県が「生物多様性保全戦略」を作っていることを知っていますか。〔回答は1つ〕

項目	回答数	割合
1. 内容を知っている	4	1.3%
2. 内容は知らないが、作っていることは知っている	22	7.3%
3. 知らない	274	91.0%
4. その他	1	0.3%
合計	301	100.0%



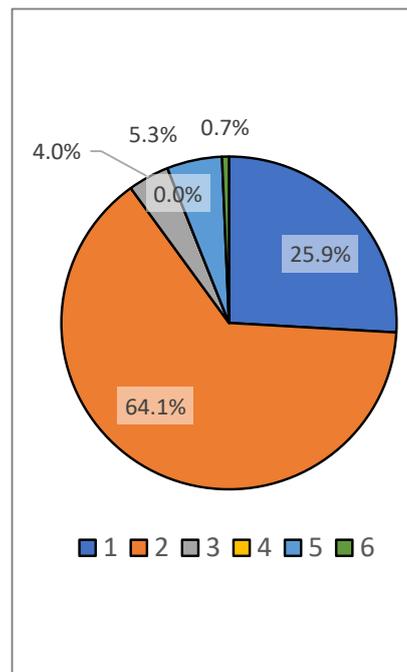
Q 4 あなたは、長崎県の「生物多様性保全戦略」を広めるためには何が必要だと思いますか。〔回答は1つ〕

項目	回答数	割合
1. 数多くの人や団体が生物多様性保全戦略作りに関与できる仕組みが必要である	56	18.6%
2. 生物多様性保全戦略の取組などをPRするイベントを行う必要がある	133	44.2%
3. 県をはじめとする地方公共団体自らが積極的に取組む必要がある	34	11.3%
4. 不特定多数の県民や団体が活動しやすいような制度を作る必要がある	21	7.0%
5. チラシ作成等の広報活動が必要である	36	12.0%
6. 広める必要はない	1	0.3%
7. わからない	10	3.3%
8. その他	10	3.3%
合計	301	100.0%



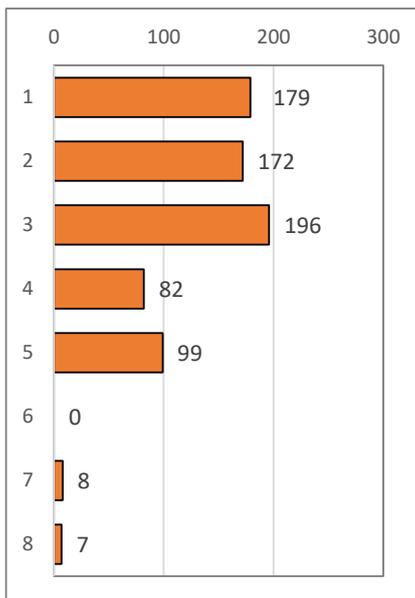
Q 5 生物多様性の保全のため、様々な生物やそれらが生育・生息できる環境を守る取組みがなされていますが、あなたは、生物多様性保全と人間生活とのかかわりはどの程度重要だと思いますか。〔回答は一つ〕

項目	回答数	割合
1. 人間の生活がある程度制約されても生物多様性保全の取組みを優先する	78	25.9%
2. 人間の生活が制約されない程度に、生物多様性保全の取組みを進める	193	64.1%
3. 人間の生活の利便性を確保するためには、多様な生物が生息できる環境が失われてもやむを得ない	12	4.0%
4. 優先すべきだと思わない	0	0.0%
5. わからない	16	5.3%
6. その他	2	0.7%
合計	301	100.0%



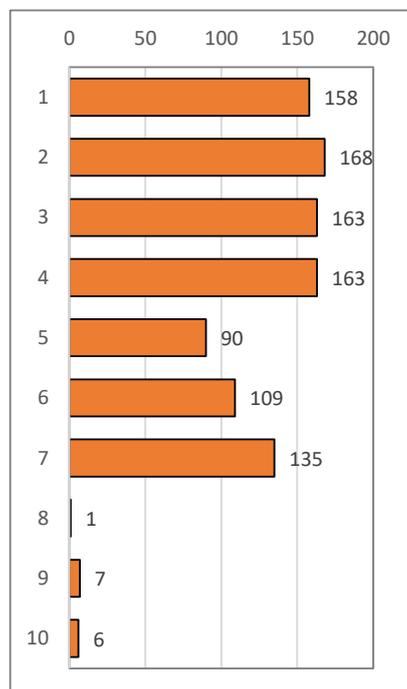
Q 6 あたなにとって、生物多様性保全が重要であると思う理由は何ですか。
(複数回答可能)

項目	回答数	割合
1. 様々な動植物が生息・生育していること	179	59.5%
2. 食糧、水、木材、繊維、燃料などの資源の供給源	172	57.1%
3. 気候変動、水質保全、病害虫抑制、防災・減災等の環境を制御する調整機能	196	65.1%
4. 自然景観の保全、レクリエーション、教育的効果など文化的なもの	82	27.2%
5. 光合成、土壌形成など生命の基盤	99	32.9%
6. 重要だと思わない	0	0.0%
7. わからない	8	2.7%
8. その他	7	2.3%
合計	743	



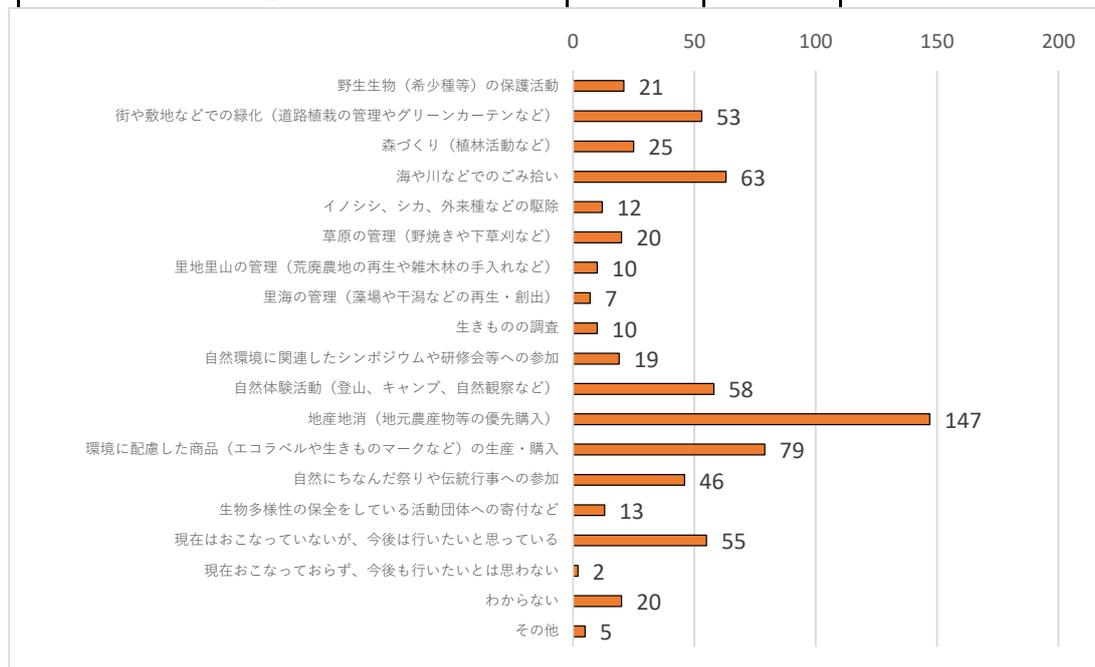
Q 7 あなたは、生物多様性保全のために、長崎県が行うべき取組みは何だと思いませんか。(複数回答可能)

項目	回答数	割合
1. 雲仙天草国立公園などの貴重な自然景観地の保護	158	52.5%
2. 里地里山といった身近な自然の保護	168	55.8%
3. ツシマヤマネコをはじめとした希少な野生動植物の保護	163	54.2%
4. 野生鳥獣や外来生物による被害の防止	163	54.2%
5. 生物多様性保全に対する取組みを進めるための科学的なデータの集積	90	29.9%
6. 生物多様性保全に取り組んでいる民間団体への支援	109	36.2%
7. 生物多様性の情報提供や環境教育等の普及啓発活動	135	44.9%
8. 取り組む必要はない	1	0.3%
9. わからない	7	2.3%
10. その他	6	2.0%
合計	1000	

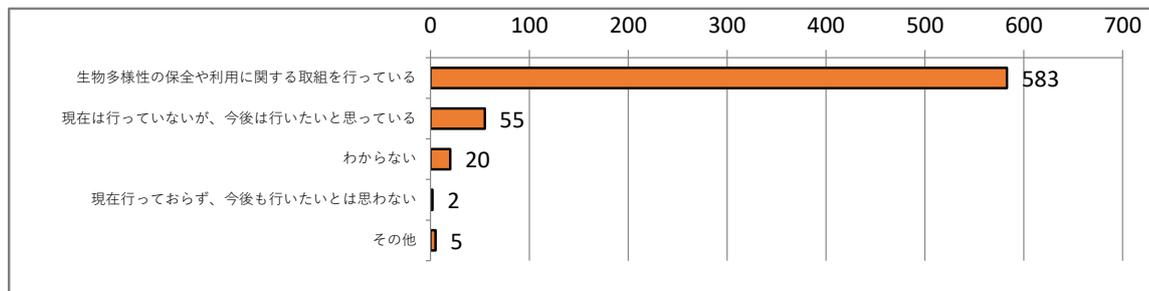


Q 8 あなたが、今行っている生物多様性の保全や利用に関する取組は何ですか。（複数回答可能）

項目	回答数	割合
1. 野生生物（希少種等）の保護活動	21	7.0%
2. 街や敷地などでの緑化（道路植栽の管理やグリーンカーテンなど）	53	17.6%
3. 森づくり（植林活動など）	25	8.3%
4. 海や川などでのごみ拾い	63	20.9%
5. イノシシ、シカ、外来種などの駆除	12	4.0%
6. 草原の管理（野焼きや下草刈など）	20	6.6%
7. 里地里山の管理（荒廃農地の再生や雑木林の手入れなど）	10	3.3%
8. 里海の管理（藻場や干潟などの再生・創出）	7	2.3%
9. 生きものの調査	10	3.3%
10. 自然環境に関連したシンポジウムや研修会等への参加	19	6.3%
11. 自然体験活動（登山、キャンプ、自然観察など）	58	19.3%
12. 地産地消（地元農産物等の優先購入）	147	48.8%
13. 環境に配慮した商品（エコラベルや生きもののマークなど）の生産・購入	79	26.2%
14. 自然にちなんだ祭りや伝統行事への参加	46	15.3%
15. 生物多様性の保全をしている活動団体への寄付など	13	4.3%
16. 現在は行っていないが、今後は行いたいと思っている	55	18.3%
17. 現在行っておらず、今後も行いたいとは思わない	2	0.7%
18. わからない	20	6.6%
19. その他	5	1.7%
合計	665	

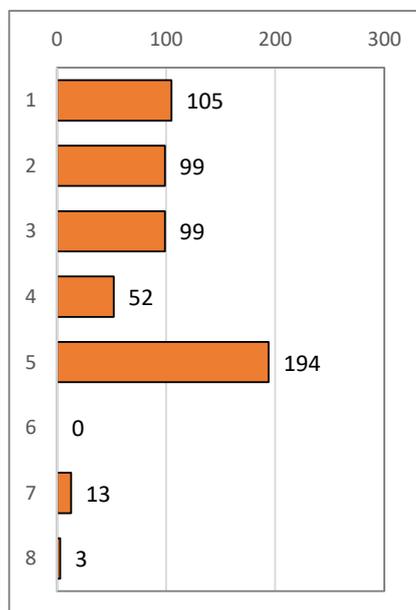


項目	回答数	割合
1～15. 生物多様性の保全や利用に関する取組を行っている	583	87.7%
16. 現在は行っていないが、今後は行いたいと思っている	55	8.3%
17. わからない	20	3.0%
18. 現在行っておらず、今後も行いたいとは思わない	2	0.3%
19. その他	5	0.8%
合計	665	100.0%



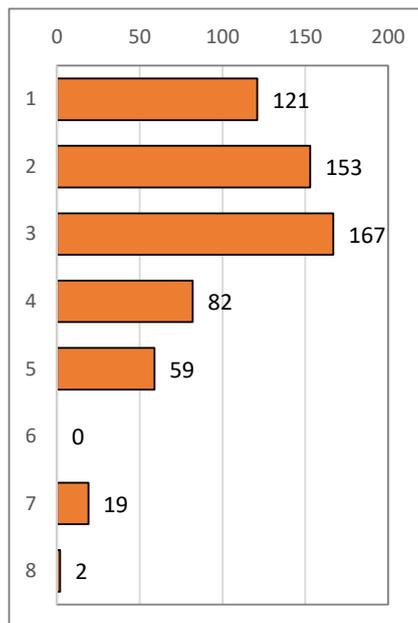
Q9 あなたが、今から行いたい生物多様性のための取組みは何ですか。
(複数回答可能)

項目	回答数	割合
1. 生物を観察したり、外に出て自然と積極的に関わって行きたい	105	34.9%
2. 自然保護活動や美化活動に参加したい	99	32.9%
3. 生物多様性に配慮した製品を優先的に購入したい	99	32.9%
4. 自然や生物について家族で話し合いたい	52	17.3%
5. 節電など地球温暖化対策に取組みたい	194	64.5%
6. 取組みたいと思わない	0	0.0%
7. わからない	13	4.3%
8. その他	3	1.0%
合計	565	



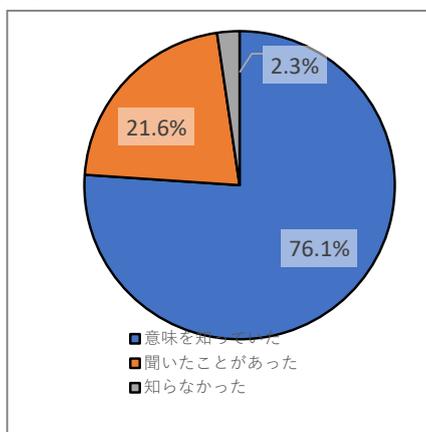
Q 1 0 県民や民間団体の生物多様性保全活動に関して、長崎県に求めるものはありますか。（複数回答可能）

項目	回答数	割合
1. 活動に対する経費の支援	121	40.2%
2. 色々な団体の活動内容や参加募集等の情報提供	153	50.8%
3. 生物多様性保全に係る取組みを必要とする地域や内容に対する情報提供	167	55.5%
4. 活動団体同士のネットワーク作り	82	27.2%
5. 活動に対するアドバイザーや講師等の派遣	59	19.6%
6. 必要ない	0	0.0%
7. わからない	19	6.3%
8. その他	2	0.7%
合計	603	



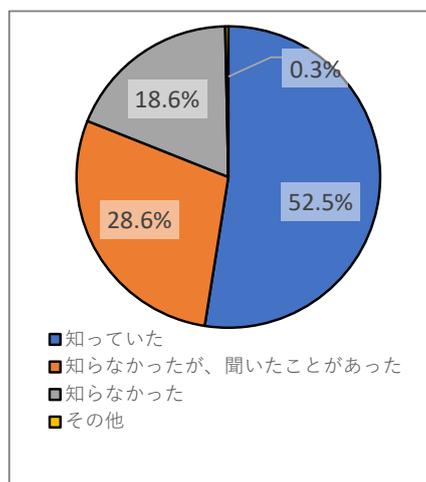
Q 1 1 あなたは、「外来種」または「外来生物」という言葉を知っていますか。〔回答は一つ〕

項目	回答数	割合
1. 意味を知っていた	229	76.1%
2. 聞いたことがあった	65	21.6%
3. 知らなかった	7	2.3%
合計	301	100.0%



Q 1 2 あなたは、長崎県内においても外来種による問題が起こっていることを知っていますか。〔回答は一つ〕

項目	回答数	割合
1. 知っていた	158	52.5%
2. 知らなかったが、聞いたことがあった	86	28.6%
3. 知らなかった	56	18.6%
4. その他	1	0.3%
合計	301	100.0%



Q 1 3 長崎県内における外来種対策として、あなたが最も重要と思う取組は何ですか。〔回答は一つ〕

項目	回答数	割合
1. 輸入の規制などの入れない取組	61	20.3%
2. ペットを捨てない、逃がさないための取組	95	31.6%
3. 飼養や栽培、運搬の規制など拡げないための取組	27	9.0%
4. 被害を及ぼす外来種を駆除する取組	61	20.3%
5. 外来種に関する教育や普及啓発（分布や影響についての情報発信など）の取組	49	16.3%
6. 取り組む必要はない	0	0.0%
6. わからない	6	2.0%
7. その他	2	0.7%
合計	301	100.0%

